

平成26年度石川県交通安全県民大会の開催について

1 趣旨

県民一人ひとりが人命尊重の理念のもとに、安全で快適な交通社会を実現するため、交通安全意識の高揚を図るとともに、良識ある交通行動の実践を決意し、もって交通事故の根絶を図ること。

2 日時

平成26年11月26日（水）午後1時30分から午後3時30分まで

3 場所

金沢市鞍月 2 - 1 石川県地場産業振興センター 大ホール

4 主催

石川県、石川県警察本部、（一財）石川県交通安全協会、
（一社）石川県安全運転管理者協議会連合会

5 協賛

石川県交通安全推進協議会

6 次第（詳細は別紙のとおり）

(1) 開会

(2) 交通事故犠牲者に対する黙とう

(3) 挨拶

石川県知事 谷本 正憲

石川県警察本部長 小島 裕史

石川県交通安全協会会長 要明 英二

(4) 表彰

(5) 祝辞

石川県議会議長 吉崎 吉規

（代理 石川県議会副議長 米田 昭夫）

(6) 祝電披露

(7) 大会宣言

(8) 講演会

演題 「事故を起こす脳、事故を起こさない脳」

講師 金沢学院大学 スポーツ健康学部

平下 政美 教授

(9) 閉会

7 その他

石川県交通安全県民大会は、昭和56年から実施しており、今回で34回目の開催となる。



平成 26 年 度

石川県交通安全県民大会

と き 平成26年11月26日(水)

ところ 石川県地場産業振興センター

主 催 石 川 県 警 察 本 部
石 川 県 交 通 安 全 協 会
(一財)石 川 県 交 通 安 全 協 会
(一社)石川県安全運転管理者協議会連合会

協 賛 石 川 県 交 通 安 全 推 進 協 議 会



ほっと石川

＜趣 旨＞

県民一人ひとりが人命尊重の理念の下に、安全で快適な交通社会を実現するため、交通安全意識の高揚を図るとともに良識ある交通行動の実践を決意し、もって交通事故の根絶を図る。

＜大会次第＞

1 開 会 (13:30)

2 交通事故犠牲者に対する黙とう

3 あいさつ

石 川 県 知 事 谷 本 正 憲

石 川 県 警 察 本 部 長 小 島 裕 史

(一財)石川県交通安全協会会長 要 明 英 二

4 表 彰

(1) 石川県知事表彰

交通安全功労団体 2団体 交通安全功労者 11名

交通安全ポスターコンクール最優秀者 4名

(2) 中部管区警察局長 中部交通安全協会協議会会長 連名表彰

優良交通安全協会 1団体 交通安全活動功労団体 1団体

交通安全功労者 12名 優良運転者 23名

(3) 全日本交通安全協会会長表彰 — 交通栄誉章「緑十字銅章」—

交通安全功労者 38名 優良安全運転管理者等 10名

優良運転者 72名

(4) 石川県警察本部長
石川県交通安全協会会長

連名表彰

交通安全活動功労団体 17団体 交通安全功労者 65名
優良街頭交通推進隊員 30名 永年勤続街頭交通推進隊員 37名
優良運転者 192名

(5) 石川県警察本部長
石川県安全運転管理者協議会連合会会長

連名表彰

優良安全運転管理者協議会 1団体 交通安全優良事業所 13事業所
優良安全運転管理者等 51名

(6) 石川県交通安全協会会長表彰 — 交通安全特別賞 —

架谷賞 4名 上野賞 5名

5 祝 辞

石川県議会議長 吉崎吉規

6 祝電披露

7 大会宣言

8 講演会

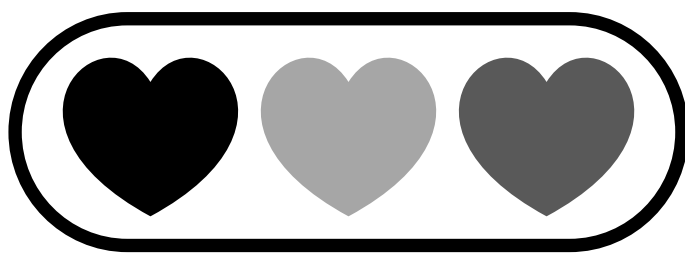
演 題 「事故を起こす脳、事故を起こさない脳」

講 師 金沢学院大学 スポーツ健康学部

教授 平下 政美 氏

講師紹介 金沢大学教育学部卒業、金沢大学医学部医学研究科大学院にて医学博士
専門はスポーツ医学、研究課題：体温調節機構の解明
平成14年秩父宮スポーツ医科学賞・奨励賞、
ICHEPER学会でエンズイワーズ賞、デサントスポーツ科学賞などを受賞。
社会福祉法人先学会、NPO熱帯スポーツ健康科学研究所を設立し高齢者
の健康づくり活動を展開している。

9 閉 会 (15:30)



(石川県交通安全シンボルマーク)

事故防止

ルールとマナーと

おもいやり

大会宣言

便利で快適な車社会にあって、依然として日々悲惨な交通事故が各地で発生し、悪質な飲酒運転も後を絶ちません。交通事故をなくし、安全で安心な交通社会を実現することは、県民すべての願いであり、来春の北陸新幹線金沢開業を控え、全国に誇れる石川の交通環境を築いていかなければなりません。

私たちは、本日の交通安全県民大会を契機に、交通社会の一員として一人ひとりが交通ルールを守り、良識あるマナーを実践し、県民総ぐるみで交通安全の確保に努めることを誓い、ここに宣言します。